



かんばるっ子

高梁城南高校川上校地の有志35人が8月12日夜に開かれる恒例のマンガ絵ぶたまつりに、今年も参加しようとして作品制作に力を入れています。

絵ぶたは、木と針金で骨組みを作り、電球を配し、和紙を貼って色付けして仕上げます。作品は、全校生徒に募集して決まった同校のマスコットのトマトっち、ナースボーイ、リンゴちゃん、わかばちゃんを船に乗せたもので、高さ約3尺、幅2・7尺、奥行き4尺の大きさになります。題して「NEW高梁城南出発進行!」。本年度、すべての学年が、川上農高から城南高校の生徒になったことから、この名が付けられました。

昨年参加した3年生が中心となつて、実行委員会を組織し、6月中旬から制作を開始。「図面から起こして形に

『マンガ絵ぶたに思いを込めて』 —城南高校川上校地・有志—

するのが分からず大変だった。頑張つて仕上げたい」と話す作業のまとめ役生物科学科3年岡川勝則君(川上町七地)。地元でも絵ぶたの制作に携わっているといいます。

生徒たちは、授業が終わった午後4時ごろから、都合のつく人から集まって制作。夏休みは、午前9時から午後5時まで作品にかりつきりになります。

実行委員長の人間科学科3年井上和巳さん(備中町志藤用瀬)は、「暑い日にろを塗ったりする作業は大変ですが、みんなで一つのものを作るので各学年との交流ができ、協調性が高まっています。昨年は4位だったので、今年は頑張つて最優秀賞を狙いたい。生物科学科3年加藤浩平君(中井町西方)は「当日は、城南高校1期生として、川上農校の先輩から受け継いだ伝統をこの船に乗せて出発します。高校生活最後の思い出になれば」と話します。

絵ぶたまつりへの参加は、川上農高の時から今年で10回目。生徒たちは、城南高生としての自分たちの頑張りを地域の人たちに知ってもらおうと、当日は思いを込めて絵ぶたを引くことにしています。



妹尾賢治さん(63) (川上町仁賀)

フランス・パリの国立音楽舞踏センター「シテ・ド・ラ・ミュージック」で日本文化特別公演の一環として、6月22日、24日の3日間、「備中神楽伝承研究会」のメンバーによる備中神楽公演が行われました。

出演した6人の神楽太夫の一人で、研究会の会長も務める妹尾賢治さん。パリ公演では「国譲り」的一幕「鬼退治」を披露しました。

同研究会は、高梁市をはじめ、井原市や総社市など県内各地の神楽太夫が集まり、11年前に結成。毎月第2水曜日を定例会として、井原市美星町の中世夢が原・吉備高原神楽民族伝承館を活動拠点に、西林国橋の創作した備中神楽の本来の形を求め、研究する活動などを続けています。

「今回のパリ公演は、芸能」ではなく「芸術」としての備中神楽を求められていました。韓国公演の経験もあり、最初は気軽な気持ちで引き受けたものの、日に日に不安は増していったそうです。

備中神楽を構成する神事・命舞・姫舞・二人同時の相舞・荒舞・合戦の一通りの要素を盛り込み、90分という限られた時間で演じるため、ス

備中神楽 パリへ

トップウオッチを片手に何度も練習を繰り返しました。

パリの会場は、ガラス天井のドーム型。日本での備中神楽の雰囲気味わってもらうため、夜空の見える午後10時からの公演とし、神殿も特設。客席は立ち見の出る日もあるなど、若者を中心に連日ほぼ満席で、何度もアンコールが沸き起こったそうです。「言葉は通じなくても、備中神楽の見せ場など十分に感じてもらえたよう」と満足そうな妹尾さん。

25日にはパリ近郊のサン・フロラン・アン・ピエイユ市の祭りでも公演。「機会があれば、今後も海外に日本文化としての備中神楽を伝えていきたい」と話されます。

また、後進の育成のために、高梁城南高等学校川上校地の郷土芸能同好会の指導も長年行われています。「まずモラル、それから芸。いくら芸を磨いても、日ごろの生活でモラルを守っていなければそれだけで台無しになってしまう」という妹尾さんの言葉は、備中神楽だけでなく、普段の生活にも生きています。



パリ公演「国譲り」の一場面 (山陽新聞提供)

学園だより

募集

岡山県生涯学習大学主催講座

～テーマ：生きがいづくり～

岡山県教育委員会では、県民の多様化・高度化する学習需要に応えるため、また統合的で体系的な学習機会の提供を図ることを目的として、「岡山県生涯学習大学」を開設しています。その主催講座として『専門教養コース、健康・スポーツ』を実施します。「学びたいあなた」をお待ちしています。

- 会場：順正短期大学
- 受講資格：県内に在住および勤務し、学習意欲のある人（原則）
- 定員：40人
- 受講料：1000円（開講初日に集金します）
- 申込方法：順正短期大学「岡山県生涯学習大学主催講座係」へお問い合わせください。
- 申込期限：8月7日(月) ※定員に達するまで受け付けますので、電話でお尋ねください。

【日程・講座内容】

9月	学習テーマ・講師	
	午前 (10:00～12:00)	午後 (13:00～15:00)
4 (月)	“キラリ” 生き活き 仲間づくりの技を磨きましょう 順正短期大学 非常勤講師 鈴木 則子	男と女の過去と未来 順正短期大学 教授 沢山 美果子
5 (火)	こころの健康を高める —伝統とデジタル機器の合体— 写メールとWordによる歌集・句集づくり 順正短期大学 助教授 片山 章郎	こころの健康を高める —伝統とデジタル機器の合体— 写メールとWordによる歌集・句集づくり 順正短期大学 助教授 片山 章郎
7 (木)	認知症と日常生活習慣 順正短期大学 教授 吉田 健男	歯並びと健康 順正短期大学 教授 中村 真理子
8 (金)	高梁市の脳卒中予防の課題 順正短期大学 教授 吉田 健男	お口の病気 順正短期大学 教授 高橋 利近

■問い合わせ・申し込み先 順正短期大学「岡山県生涯学習大学主催講座係」(TEL)23517)

※6月号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

表中8月30日(木)、「教授 佐藤三矢」→「講師 佐藤三矢」、「田中和吉」→「教授 田中和吉」

編集後記

全国各地で大きな被害をもたらしている梅雨の大雨ですが、市内でも土砂崩れが発生。これからは台風シーズンを迎えます。日ごろからの災害に対する備えが必要です。

梅雨が明けるといよいよ夏本番。子どもたちにとって待ちに待った夏休みも始まります。今月号で紹介したとおり、市内各地で夏のイベントがめじろ押しです。ご家族で、また友人と一緒に足を運んでみてはいかがでしょう。身

近いイベントにも新たな発見があるかもしれません。

また、今回、取材させていただいた妹尾さんとの備中神楽を通してのいろいろな話の中で、地域の文化を知ることの大切さを感じました。高梁には備中神楽をはじめ、地域で育まれてきたさまざまな素晴らしい伝統文化があります。私自身も改めて見つめ直してみたいと思います。(YM)

楽しく踊りましょう



よしたか 南 賀隆さん(27)
奥万田町

お話し 聞かせて

高梁市観光協会で働いています。今は8月に行われる「備中たかはし松山踊り（以下、松山踊り）」の準備に追われています。

吉備国際大学で4年間学生時代、桜まつりの旗行列や松山踊りの踊りフレンズなどを通じて、いろいろ

な行事に参加しました。その中で、地域の人たちが協力して盛り上げていく姿や自分のまちを大切に思う気持ちを感じ、山口県出身ですが卒業後もこのまちに住んで働きたいと思うようになり、今の仕事を選びました。

これからも、多くの人が気持ちよく参加でき楽しめるイベントを企画し、高梁を盛り上げていけるよう、頑張りたいと思います。

今年も松山踊りは8月14日から3日間開催されます。今年から、祭りが始まる前に商店街を踊りながら練り歩く「流し踊り」もあります。一人でも多くの人が気持ちよく踊ってもらいたいですね。

※P9に関連記事